

れきぶん「端午の節句」

2階歴史文化展示ゾーン 町屋およびイベント広場にて、端午の節句にちなんだ展示と端午の節句の食文化を体験するプログラムの参加者を募集しています。
情報掲載・ご取材のほどよろしくお願いいたします。

町屋

江戸時代の長崎の商家を復元した町屋では、節句料理と武者飾りを展示します。

端午の節句に男子の健やかな成長を願い、各種の行事を行うしきたりがあります。

長崎では、5月1日、前年に男の子が生まれた家では、男子の初節句を祝って立てる新しい幟（のぼり）を立てました。幟は木綿か布でつくり、家紋や鶴亀・松竹梅・神様である鍾馗（しょうぎ）などを染め出したものに、猿や小鈴などの飾りをさげ、一対の幟台（のぼりだい）に取りつけます。そのほかにも纏（まとい）や槍・刀などの模型も合わせて飾りました。

5月5日には長崎奉行所では役人に赤飯や煮しめをふるまいました。また長崎の商家では早朝から諏訪神社などへ参拝し、その後知人の家々を回り挨拶を行いました。

期間： 2019年4月16日(火)～6月16日(日)

時間： 8:30～19:00（最終入館30分前）

会場： 2階歴史文化展示ゾーン 町屋（常設展示室内）

料金： 常設展観覧料で観覧可

大人600円、小中高生300円 ※長崎県内の小中学生は無料



食文化体験 要事前申込み

長崎式こいのぼり

節句菓子



唐灰汁ちまき

かから餅

料理研究家の脇山先生のお話を聞きながら、端午の節句にちなんだ長崎伝統の郷土料理と唐あくちまきをいただきます。

日時： 2019年5月2日（木）17:00～18:00

場所： ミュージアムレストラン銀嶺

定員： 20名

参加費： 1,500円

講師： 脇山壽子氏（郷土料理研究家）



↓端午の節句（川原慶賀）



江戸時代の絵画にも描かれている長崎式のこいのぼりを飾ります。

期間： 2019年4月16日(火)～5月6日(月祝)

場所： イベント広場（ミュージアムレストラン銀嶺前）

